

文書番号: ESC-APN-050-0411

Re:Zolver オブジェクトファイル解析仕様

(RRT000:
Rev.4.11, 2021/05/14)

株式会社 DTS インサイト

TriCore オブジェクトファイル解析仕様 (TriCore アーキテクチャ対応ライセンス: RRT000)

サポートコンパイラ

Altium Limited (TASKING)	
バージョン	TASKING VX-toolset for TriCore v5.0r2 ~ v6.3r1
アーキテクチャ	TriCore™ TC1.3, TC1.3.1, TC1.6, TC1.6.1, TC1.6.2
オブジェクトファイル	ELF (リロケートブル形式、ライブラリ形式は除く)

Green Hills Software (GHS)	
バージョン	Compiler 2017.5
アーキテクチャ	TriCore™ TC1.3, TC1.3.1, TC1.6, TC1.6.1, TC1.6.2
オブジェクトファイル	ELF (リロケートブル形式、ライブラリ形式は除く)

HighTec EDV-Systeme	
バージョン	TriCore Development Platform v4.9.3.0
アーキテクチャ	TriCore™ TC1.3, TC1.3.1, TC1.6, TC1.6.1, TC1.6.2
オブジェクトファイル	ELF (リロケートブル形式、ライブラリ形式は除く)

解析に必要な情報

必須情報 (オブジェクトファイルのセクション)	
任意の名称の実行属性セクション	命令コードを含む。 ※圧縮されている場合対応できません
任意の名称の READ/WRITE 属性セクション	変数/リテラルデータなどを含む。 ※圧縮されている場合対応できません
.shstrtab	セクション名を含む。
.symtab	シンボルテーブル
.strtab	シンボルテーブルから参照するシンボル名を含む。
さらに正確な解析のための情報 (オブジェクトファイルのセクション)	
.debug_abbrev .debug_info .debug_line など	DWARF3 フォーマットのデバッグ情報 ※必須情報と同一ファイルにないデバッグ情報は対応できません

(次ページに続く)

Altium Limited (TASKING)		
コンパイルオプション		
推奨	-g	出力ファイル中にデバッグ情報を出力します。
推奨	-O0	最適化を実施しません。
推奨	--nothing	C++のメンバ関数の自動インライン展開を無効にします。
使用不可	-g1	出力ファイル中に最小限のデバッグ情報を出力します。

Green Hills Software (GHS)		
コンパイルオプション		
必須	-G	出力ファイル中にデバッグ情報を出力します。
必須	-dwarf2 または -dual_debug	GHS の.dpo 形式だけでなく、DWARF 形式でオブジェクトファイルにデバッグ情報を生成します。
推奨	-Omaxdebug	インライン化とすべての最適化を無効にします。
使用不可	-no_uncompressed_copy	圧縮 ROM セクション (CROM) に対して、非圧縮の ROM セクション (UNCOMPRESSED) を生成しないようにします。

HighTec EDV-Systeme		
コンパイルオプション		
推奨	-g	出力ファイル中にデバッグ情報を出力します。
推奨	-O0	最適化を実施しません。

「Re:Zolver ユーザーズマニュアル for TriCore AURIX」の「12. オブジェクトファイル解析仕様」に記載されている「ビュー毎の表示仕様」、および、「注意事項 (共通)」、「注意事項 (GHS コンパイラ)」、「注意事項 (TASKING コンパイラ)」もご確認ください。